

令和3年度 第2回  
運営推進会議  
介護・医療連携運営推進会議

議事録

看護小規模多機能施設 のぞみ  
グループホーム のぞみ  
小規模多機能施設 めぐみ  
グループホーム めぐみ  
定期巡回 ゆい 港北

日時： 令和3年8月25日（水）15時30分～17時00分  
場所： オンライン開催

1. 開会の挨拶

- ・新規ご出席者ご紹介
- ・新しいスタッフ紹介

2. 看護小規模多機能施設 のぞみ

<活動状況報告> 添付資料参照

《家族より》

実際の活動状況を知りたい。ホームページなどで見るができるか。  
写真などを見ることができれば家族としては安心する。  
新しいスタッフの方が増えたときなど、写真入りの物で「職員紹介」などがあると、  
本人と話をするとき話をしやすく良いと思う。

3. グループホーム のぞみ

<活動状況報告> 添付資料参照

4. 小規模多機能施設 めぐみ

<活動状況報告> 添付資料参照

<外部評価総括> 添付資料参照

5. グループホーム めぐみ

<活動状況報告> 添付資料参照

《家族より》

事故・ヒヤリハットについて、  
同じような事象でも「事故」となる場合「ヒヤリハット」となる場合の基準は？  
⇒医療機関にかかった場合には、横浜市への報告義務があり、  
その場合は「事故」となる。

⇒（裏面に続く）

## 6. 定期巡回 ゆい 港北

〈活動状況報告〉 添付資料参照  
〈利用事例紹介〉 添付資料参照

《訪問看護より》

現在、利用者本人ではなく、家族の発熱や陽性の事例が出ているが、そのような場合の訪問サービスの対応はどうなっているか？

⇒必要であればサービスを提供する体制は取っている。  
ガウンやゴーグル着用にて実施できるようにしている。  
全員ワクチン接種が完了している。

《医師より》

ワクチン接種で、重症化は防ぐことができたとしてもコロナに罹ることまでは防げない。普段の感染予防対策は重要となっている。スタッフの方たちには、感染予防のためのスタンダードプリコーションの遵守について再度、ガウンの着脱等についても確認をして徹底できるようにしたい。

また、一番怖いのは、スタッフが陽性なのに軽症なためサービスを継続していて、結果として高齢者へ感染を拡げていってしまうこと。

是非、スタッフの方全員で厳しい意識をもって感染予防に努めて欲しい。

⇒再度スタッフ全員（法人全体）、感染予防に関して徹底する。

## 7. 総括

《包括より》

発表事例に関して、支援時に色々関わっていたが、終結に係るところでの情報共有が薄くなってしまっていた。

⇒サービスに傾注するあまりご報告が遅れてしまった。  
情報共有のあり方については今後の反省点としていく。

コロナで外に出られなくなっている中、ちょっとした配慮で事故やヒヤリハットにならなくて済んだ事例が散見されるように感じる。スタッフの方も大変中ではあるが、上手に息抜きをしながら介護にあたっていただきたいと思う。

地域の集まりが制限されている中で、包括としても何か方法はないか検討している。今後も色々情報を共有しながら協力をしていただければと思う。

《歯科医師より》

ご利用者様で、食事が食べられず、口の中に溜めてしまうという方がいて嚥下能力等の診察を行ったが、能力的には問題がなかった。食事自体に興味がない。お腹が空いていない。などの原因がある。家庭での食事の時間と、施設での食事の時間が異なることにより、まだお腹が空いていないということもあり得るかと思うが、施設の食事はどのようになっているか？

⇒食事は夕食なども一律に全員に提供する形となっている。  
ご利用者ごとの個別対応については今後検討していきたい。

## 8. 閉会の挨拶

**【次回開催予定】**

**〈運営推進会議〉**

**令和3年11月24日(水) 15時30分～(予定)(開催方法:未定)**

**〈介護・医療連携運営推進会議〉**

**令和4年2月23日(水) 15時30分～(予定)(開催方法:未定)**